

2019.9.30

第 39 回 天文学に関する技術シンポジウム世話人会

2019 年度 世話人会企画「企画シンポ」 企画書

1. はじめに

本書は、2020 年 1 月の技術シンポジウムでの企画講演の企画書である。昨今、国立天文台が進める各プロジェクトは、大型・大規模化しており、国や地域を越え他国の機関と共同で進めていくことが盛んとなってきている。こうした情勢を踏まえ、本年度は、「日本の天文プロジェクトと技術の国際化」をテーマとして、招待者のみの企画講演と、技術職員や研究者による Lightning Talk、参加者全員参加型グループディスカッションを企画シンポとして実施する。これらの企画を通じて、日本が世界にどのように貢献できるか、何が期待されるか、また我々の組織はどうあるべきか自ら考える場を提供したい。

2. 開催日程

開催日は、2020 年 1 月 16 日(木)の終日とする。また、企画シンポ日の言語は、原則英語とする。

3. 全体スケジュール

全体スケジュールを表 1 に示す。企画シンポでは、技術シンポとは別に Opening および Closing talk を入れる。

企画講演者は、20min の発表と 5min の質疑応答とする。

Lightning talk は、あらかじめ指定した技術職員または研究者で 1 人 5min のショートプレゼントとして質疑応答は、無しとする。また、当日募集枠も用意したい。

グループディスカッションの手法は、例年同様とする。詳細は、後述する。

表1 企画シンポの全体スケジュール

	Speakers or Contents	Affiliation	Remarks
8:50	Sato, Tatsuhiro	Opening talk	
9:00	Tatematsu, Kenichi	Nobeyama Radio Observatory/NAOJ	
9:25	Tomaru, Takayuki	KAGRA/NAOJ	
9:50	ALVARO GONZALEZ GARCIA	ALMA/NAOJ	
10:15	Kosugi, George	ALMA/NAOJ	
10:40 - 10:50	Coffee Break		
10:50	Yoshida, Michitoshi	Subaru Telescope/NAOJ	
11:15	Noumaru, Junichi	TMT/NAOJ	
11:40	Paul Ho	East Asia Observatory	
12:05 - 13:00	Lunch Break		
13:00	Fengchuan Liu	TMT	
13:25	Sugimoto, Masahiro	TMT/NAOJ	
13:50	Mitsuda, Kazuhisa	JAXA	
14:15	Tsuneda, Saku	NAOJ	
14:40	Watanabe, Manabu	ALMA/NAOJ	
14:45	Ueno, Yuji	VERA/NAOJ	
14:50	Tsuzuki, Toshihiro	ATC/NAOJ	
14:55	Seiichi, Tazawa	TMT/NAOJ	
15:00	Lightning Talk 5	T.B.D.	
15:05 - 15:15	Coffee Break		
15:15	Description of Group Discussion		
15:20	Group discussion		
16:40	Each Group Presentation		
17:00	Mitsuda, Kazuhisa	Closing talk	
17:10	Excursion for attend from faraway		
18:00	Banquet		

4. Lightning talk

Lightning talk は、5min の短いプレゼンである。国際化や大型プロジェクト、それらの直面する問題などに絞って、プレゼンをする。発表者は、あらかじめ前に並び、発表資料も一つの PC へ集めておき、人の交換に関わる時間を短縮する。

5. グループディスカッション

グループディスカッションのテーマは、「国際化するプロジェクトと日本のあるべき方向と将来」とする。グループディスカッションでは、重点を日本へおき、ますますグローバル化、国際化する天文台について、私たちが変わるべきこと、なすべきこと、継続することについて議論する。海外からの参加者については、日本への客観的な意見を議論に取り入れることができる。また、日本人のみのグループは、日本語で議論して構わない。表 2 に、各グループの Facilitator を示す(講演者確定後に協議)。

表 2 グループディスカッション

Group	Facilitator
A	Lundock, Ramsey
B	Hayashi, Saeko
C	Ueno, Yuji
D	Hayano, Yutaka
E	Hirano, Ken
F	Omata, Koji
G	Hagino, Masaoki
H	Fujii, Yasunori
I	Nakamura, Kyoko
J	Nagayama, Shiyogo

グループディスカッションの方法は、従来通りとしてグループディスカッションのルール説明、アイスブレイク、議論、まとめとする。前回より議論の時間が短いため、積極的にポストイットを使った意見出しを世話人会として推奨する。

また、グループディスカッションのために各講演からキーワードを抽出して、ホワイトボードに記載する。これにより、ディスカッションすべき内容についてのヒントになることが期待できる。

6. ディスカッションのルール

基本的に、各グループの方法に任せるが、下記の内容はディスカッションのルールとして設定する。

① 参加者のルール

- 縄張り意識を持たない
- 相手を非難しない
- 肩書と立場を忘れる
- 人の話をよく聴く
- 思い込みを捨てる
- 意見の相違を歓迎する
- 楽しく議論する

② ファシリテータの心得

- 客観的立場に自分を置く
- 参加者・話し合いの当事者を主役にする
- 場の状態を把握する
- ファシリテータも意見を言って良いが、あくまで中立の立場を貫く

以上